

聖ヨセフの祝日の説教

金 大烈 神父 2009年3月19日(木)

《純潔について》

今日の説教のテーマは "純潔" です。

私のいる甘谷(ガムゴク)聖地は、昨年だけでも12万人の人が巡礼に来ました。韓国では一番大きい聖地です。いろいろな奇跡が起こっている場所です。昨年10月には、目の見えない人の目が開くという奇跡がありました。その方の職業は、牧師さんでした。聖書の中で起こっている奇跡のほとんどが、韓国でも実際に起こっている、と感じさせられるくらい奇跡が起こっています。昨年皆様が巡礼団として来られたことも大きな祝福だと私は信じています。再び来られることを待ち望む気持ちで皆様を招きたいと思います。

今日は、皆様ご存知のように聖ヨセフの祝日です。

ある日、ある人が私のもとを訪れました。第一印象は、とても怖い感じの人でした。韓国の平和放送局から放送されているテレビを見て、私のところへ来たのです。前科10犯で、裁判を受けた経歴が10回ある人でした。その人は、「これから私はあなたを兄と 생각합니다。カトリックの要理を教えてください。」と言いました。そして要理の勉強を始めると、質問がありました。「理解できないところがあります。聖マリアと聖ヨセフは夫婦なのに、なぜ純潔を守ることができたのでしょうか。同じ部屋に寝ていながらどうしてその女性に触れないでいられたのでしょうか。私には信じられません。神父様、説明をしてください。」と言いました。

誰かが皆様に同じ質問をしたら皆様はどのように説明するのでしょうか。これは、私たち全員が、一度くらいは深く考えなければならないことだと思います。

「性」とは、やはり聖霊様がいらっしゃるから守るのが可能なことです。人間の力ではできないことも聖霊様にはできます。聖霊様の力によって、純潔を守りながら生涯を送れることをわかってほしいです。

韓国の103人の聖人のなかで、夫婦童貞の聖人達があります。二人とも、結婚する前に神様に対する信仰を持ち、独身を守りながら信仰の生活をしたいと望んでいました。二人とも、神様と結婚したいと思っていたのです。しかし100年前の慣習により、それはできないことでした。必ず結婚をしなければならない時代でした。結局、二人は結婚することになります。結婚の日、二人は強く約束します。"もし神様が望まれるならば、私たちは童貞を守りながら夫婦として生きましょう"と。同じ部屋にいてそれを守るのはやはり難しかったのでしょうか。体には血が騒ぎ、性欲やいろいろな感情があったと思います。そんなとき、男の人は外に出て体に水をかけて気持ちを静め、女性は針で自分の股を刺したそうです。その結果、二人は童貞を守りながら殉教しました。

聖母マリア様と聖ヨセフも同じように、童貞を守ったと私は信じます。聖母マリアの相手は、確かにヨセフではなく、聖霊様です。しかし、その聖母マリア様を守ってくださったのは聖ヨセフでした。そして、イエス・キリストを守ってくださったのも聖ヨセフでした。その聖ヨセフに与えられた恵みが一つあります。イエス・キリストが臨終を看取られた唯一の人が、聖ヨセフでした。聖ヨセフが亡くなる時、最後までイエス・キリストは見守りました。このことをとおして、イエス様は、マリア様を愛する人を必ず見守ってくださることを信じてください。

司祭もやはり独身で一生を過ごします。信仰のない人々の目には、少しおかしく見えることでしょう。マタイの福音には、「誰も一人で生きることはいけません」と書かれています。しかし、一人で生きる必要のある人もいます。生まれた時から性的な障害を持っている人々、生まれてから障害を持つようになった人々、そして神様のために自ら障害を持つような生き方をする人々。その三つ目の種類の

人々は神様が選んでくださった人々でしょう。司祭達も皆様と同じ体を持っています。もちろん性欲は起こります。しかし、それら全てのことを一生神様に捧げなければならないのです。ある意味では、司祭が独身を守る生き方そのものが神様を強く証明する証ではないかと思います。人々は、司祭にいろいろな質問をします。特に、"なぜ一人で生きるのか、どのような力が独身で生きることを守ってくれるのか、自分にはわからない何かの力があるのか、その力は何なのか" 知りたがりです。そのとき、全ての司祭は、"その力は神様の愛です"と答えられなければならないと思います。肉的な欲を持つこととお祈りをするとは、反比例の関係になります。真剣な祈りの生活に入ると肉的な性欲は減ります。しかし、司祭でも祈ることを怠けてしまうと、必ず逆に性欲がものすごく強くなるのは当然のことです。

ですから、私たちに推測ができるのは、聖ヨセフは大変よく祈る方だったのだろうということです。もし聖ヨセフが祈る人でなかったら、絶対マリア様を守ることはできなかったと思います。そういう意味で、聖ヨセフ様は偉大だと言われます。そして、聖ヨセフは、臨終の人々の守護聖人であることもご存知ですね。

まとめてみます。聖ヨセフが果たした一番大きな役目は、イエス様と聖母マリア様を守ってくださったことです。今日、聖ヨセフの祝日にミサを行っている私たちは、もう一人の聖ヨセフとなれるように、祈る人となれるよう頑張りましょう。私たちが死ぬときには、イエス様が必ず見守ってくださると私は信じます。聖ヨセフが神様からいただいた一番大きな恵みは、臨終の日に、イエス様が見守ってくださったことです。ともに私たちは聖ヨセフ、聖マリア、そしてイエス・キリストが一つになった聖家族のような聖家族を作ることができるように神様に願わなくてはならないと思います。

アーメン。